

授業科目名	社会福祉現場実習指導	担当教員名	山下 智佳子
科目区分	社会福祉主事任用資格に関する科目	施行規則に定める 科目区分 等	
必修・選択/単位数	選択 / 2単位 (180時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童相談所で児童福祉司として従事したほか、福祉事務所や社会福祉協議会での実務経験を活かして、具体的に実践的な授業を行っている。
授業の概要 及び 全体目標	社会福祉施設実習（1年次春季）の事前指導を1年後期に、事後指導を2年前期に行う。また、機関実習（2年次夏季）の事前指導を2年前期に、事後指導を2年後期に行う。 ※上記の演習に加えて、実習先のオリエンテーション、研修等に参加する必要がある。		
到達目標	1.社会福祉現場実習（施設）の意義について、理解する 2.社会福祉現場実習（施設）に臨む心構えができる 3.社会福祉施設について、その目的や役割を理解する 4.社会福祉現場実習にあたり、自らの課題が設定できる		
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著		
参考書・ 参考資料等	「最新 保育士養成講座 第4巻社会福祉[改訂2版]」山縣文治・鶴宏史 編著，2024，全国社会福祉協議会		
成績評価の方法	授業参加態度：30％ / 課題シートの提出（毎回）：60％ / 発表内容：10％		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業時に指示します。事後指導については、毎回提出する課題シートで振り返りをしますが、「実習ハンドブック」と授業時に配付した資料で毎回復習しておきましょう。また、教育実習・保育実習を振り返ることで、自己課題を明らかにし、社会福祉現場実習に活かしましょう。課題シートには質問事項も記載できるようにし、次の授業で回答します。 オフィスアワー：授業終了後（研究室）		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	オリエンテーション 社会福祉現場実習（施設）の意義と目的		1
第2回	社会福祉の理念／社会福祉援助技術		1,3
第3回	社会福祉施設とは		3
第4回	高齢者施設		3
第5回	生活保護施設		3
第6回	児童福祉施設①乳児院等		3
第7回	児童福祉施設②児童養護施設等		3
第8回	障害者支援施設（重症心身障害児・者への支援）		3
第9回	障害者支援施設（知的障害者・児への支援）		3
第10回	社会福祉現場実習（施設）の心得と方法		3
第11回	社会福祉現場実習（施設）の課題設定①		4
第12回	社会福祉現場実習（施設）の記録の書き方		2,3,4
第13回	実習施設の事前学習①		2,3,4
第14回	実習施設の事前学習②		2,3,4
第15回	社会福祉現場実習（施設）の課題設定②（最終課題設定） まとめ/実習に向けて		1,2,3,4